

事業番号	14	事業名等	美しいまちづくり運動推進事業
仕分け結果	市が実施(要改善)		担当課 環境生活課

評価(判定)	人数(人)	市民評価委員の主な評価(判定)理由等
廃止	0	
民間が実施	1	・美しいまちづくりに基準がなく、きりが無い。財政状況から市がすべきでない。
国・県・広域行政が実施	0	
市が実施(要改善)	17	<ul style="list-style-type: none"> ・意識や運動に地域差があり、花いっぱい運動が形だけになっている地域もある。 ・27年間継続しているとのことだが、もう少し広い考えでできないか。 ・清掃活動の啓発にも力を入れるべき。 ・コンクールに賞金を設けて推進するのは、参加団体がそれを目的にするのでは。 ・コンクールの賞金を下げて、花の種を副賞にしては、支給する苗を減らしては。 ・コンクールは無くても良いのでは。公園など指定して植えてもらったらどうか。 ・市民参画をより多くするべき。(子ども会等、ボランティア参画を要請するべき) ・市民参加を基本として定着させ、自主運営化を目指すべき。 ・花の苗をもらう団体(コンクール不参加)が、きちんとやっているかのチェックは。 ・運動として位置づけてほしい。、町内の人達の交流に役立つのでは。 ・マイバッグ運動は、商店街等が行い、認知度があがっている。
市が実施(現行どおり)	2	
市が実施(拡大・充実)	3	<ul style="list-style-type: none"> ・コンクールだけでなく、様々な場所の緑化に取り組んで。 ・幅広い年齢層に取り組んでもらえるような工夫をしてみても。 ・市内には花が少なく、雑草で見苦しい場所も多い。もっと力を入れるべき。

市民評価委員の評価(判定)理由が、類似した内容のものについては重複掲載していません。
 評価(判定)項目と理由の内容が合致しない場合も掲載していません。
 また、市民評価委員全員が、評価(判定)理由を付しているとは限りません。

仕分け人の講評
<p>運動は、拡がりが必要である。参加者を幅広く、特に子どもが将来を担うので、環境の重要さや清掃、花をつくることに子どもが関心をもっていくことが継続につながる。できるだけ年齢が低い層を取り込んでいく工夫をすることが必要である。様々な団体、企業など、もっと市民総参加型の運動にもっていき、参加人数を増加させる目標をもって実施すれば良いと考える。また、環境については企業が社会貢献や社会的責任ということで関心が高くなっているの、環境分野に力を入れている企業等からの協賛も求めていくこともひとつの方法である。関心の高い問題であるので、幅広く資金の確保も考えてみるべきではないか。</p>